

好奇心を失わずに

広報委員会



宮川 和 志

東北ボーリングさく泉代表取締役

昭和62年に約25年ぶりに故郷の仙台へ帰ってきて、その変化の様に驚いたと思っていましたら、もう8年が過ぎようとしています。まことに「光陰矢の如し」です。学校を出て就職してから、東京、浦和、岡山、名古屋、東京、仙台と転勤生活を続けており、このように1箇所長く居るのは、卒業以来はじめてです。

前の会社では、ダム、トンネル、長大橋（本四架橋）等の地盤調査や超高層建築物の耐震設計のための基礎調査を経験し、最後は河川堤防の強化（浸透並びに耐震）問題を担当する等振り返ってみますと大変興味のある仕事に恵まれてきたものと思っています。

現在の会社は、地質調査、地すべり対策工事、さく井工事の3部門がほぼ同程度の売上を構成していますが、私の役目は、さく井工事、地すべり対策工事に取り組むことでした。特に当社の社名にも出ていますさく井工事は、単に井戸を掘ると言う事だけでなく、地下水の開発計画から、最終的な利用にいたるまでの過程は、技術的にも

対発注者との関係も大変奥が深く、好奇心の強い小生にとっては非常に魅力のある仕事です。

ポンプの故障を直して揚水した水が、水不足でヒビ割れのした水田に広がっていく光景は胸を打つものが有ります。また、不安気に眺めていた地元の人々から喜びの喚声が起こり、多数の方々から感謝されるなど、まさに地元に貢献する企業としての冥利に尽きます。

会社は、もうすぐ創業50年を迎えます。しかし、会社は長ければ尊いわけではありません。常に革新の気持ちと旺盛な好奇心をもってこの長年蓄積した豊富な経験を生かせるような経営をしたいと考えております。

プロフィール

昭和12年1月1日生	58歳
昭和30年3月	宮城県立石巻高等学校卒業
昭和35年3月	東北大学理学部地球物理学科卒業
昭和35年4月	応用地質株式会社入社
昭和62年2月	東北ボーリングさく泉代表取締役
資 格	現在に至る 技術士 応用理学部門：地質 建設部門：土質及び基礎
趣 味	スポーツ観戦。（特にラグビーをこよなく愛す。）
家 族	妻。（息子二人は独立。）